

単元名 よんで たしかめよう

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。
 (2) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
 (3) 文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、分かったことを伝えようとする。

標準的な展開例

01010204_001

【教材名】 うみの かくれんぼ (上 P.114～P.119)

【準備等】 教科書の写真を拡大したもの、生き物カード用の用紙、生き物に関する図書

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「うみの かくれんぼ」を読んで、学習の計画を立てる。 ★「いきものカード」を作ろう。 ○生き物を見つけたときのことを思い出し、話し合う。</p> <p>○教科書(P.114～115)の写真を見て、隠れている生き物を予想する。 ○教師またはCD等による範読を聞き、音読する。</p> <p>○「くちばし」の「問い」と「答え」の構成を思い出す。</p> <p>3 「問い」と「答え」の構成を捉える。 ○「問い」の文を探す。</p> <p>○「答え」を探す。</p> <p>4～6 「問い」に対する「答え」を確かめながら読み、「いきものカード」にまとめる。 ○「はまぐり」の「隠れている場所」「体の特徴」「隠れ方」を読み取り、カードに書く。</p> <p>○「たこ」の「隠れている場所」「体の特徴」「隠れ方」を読み取り、カードに書く。 ○「もくずしゅい」の「隠れている場所」「体の特徴」「隠れ方」を読み取り、カードに書く。</p> <p>7～8 他の生き物のカードを作る。 ○生き物探しをしたり、図鑑を参考にしたりして、「何がどこに、体の作り、隠れ方」などを調べ、生き物カードに書く。</p> <p>○友達とカードを読み合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに見付けたことのある生き物について思い出させる。 ・追い読みや句点読みなどで、何度も声に出して読ませる。 ・「くちばし」の学習で使用した掲示物等を見せるとよい。 ・児童には、「読んでいる人に聞いている文」など分かりやすい言葉で説明する。 ・海の生き物が三つ書かれていることに気付かせ、「答え」が三つあることを確かめる。 ・「問い→答え→答え→答え」の構成になっていることを押さえる。 ・「くちばし」との一問一答形式との違いを確認する。 <p>【評】「問い」の文と「答え」を探す活動を通して、文章の重要な語や文を考えて選び出す「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ形式のカードを作成しておき、どの生き物も三つの観点で書き込めるようにしておく ・教材文の3文を色分けして提示すると、共通した構成に気付かせやすい。 <p>【評】それぞれの生き物についてカードにまとめる活動を通して、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】それぞれの生き物の「隠れている場所」「体の特徴」「隠れ方」を読み取る活動を通して、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館を活用するとよい。 ・生活科と関連させてもよい。 <p>【評】生き物カードを作る活動を通して、学習に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】生き物カードを書く活動を通して、文の中における主語と述語の関係に気付く「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後から感想を言い合えるように、事前に読む観点を示しておく。

【 備 考 】